

き ら り

vol.21
2019年11月



巻頭言

救急外来と救急科の診療状況	2
地域への情報発信	5
脳神経外科 新体制スタート	6
連携医紹介	7
連携室ニュース	8

特集 3-4

救急医療



救急外来と 救急科の診療状況

理事（兼）院長補佐（兼）救急科
主任科部長

きり た ま な ぶ
切 田 学

加古川中央市民病院は32診療科を擁する急性期病院です。よって、その使命として地域医療圏（加古川市、高砂市、稲美町、播磨町の約41.5万人）の救急医療をしっかりと実践できる体制をつくることが求められます。

当院の救急外来（1階）は、初療処置室3室（多忙時4室）、診察室4室、観察ベッド9床とはしか・風疹・インフルエンザ、結核などの感染症対応診察室2室、そしてシャワー洗浄室から構成されています。救急傷病者をスムーズに診療できるように、救急外来に隣接してCT検査室3室、単純X線検査室1室、MRI検査室3室、血管造影検査室3室が配置されています。

平日昼間帯は、常駐する4～5名の救急外来看護師と6～8名の救急科配属医師が、そして適時循環器内科医師、小児科医師をはじめ各科救急担当医が、各専門科のバックアップ下に救急診療を行っています。夜間・休日は、5～6名の救急外来看護師と内科、循環器内科、小児科、歯科口腔外科、産婦人科の当直医らが、各専門科のバックアップ下に救急診療を行っています。

さて救急科は、現在、救急科専従医2名（ともに救急専門医）、救急科配属の他科専攻医1～2名、初期研修医4～6名の陣容で、平日昼間帯と救急当番日の終日の救急診療に当たっています。年齢（0歳～100歳以上）や軽症・重症を問わず、病気、外傷、熱傷、動物咬傷（犬・マムシ・ムカデ・蜂など）、熱中症・低体温症、急性薬物中毒、窒息、溺水、心停止など様々な患者（疾患）を診ています。その時に心がけていることは、ひとりでも多くの緊急・重症傷病者を受入れられるスピーディな診療です。2018年度はドクターカー出動、ドクターヘリ搬入も含む救急車搬入の2,392例（総救急車搬入7,648例の約31%）の、直接来院を含めると2,718例の初療にかかわりました。2,718例のうち1,544例（56.8%）が帰宅となり、419例を地域かかりつけ医、専門医に紹介しました。入院は1,052例（38.7%）で、各専門科が795例を、救急科が257例を担当しました。

救急科は救急医療以外に災害医療やイベント医療参画にも力を入れています。災害に備え、毎年、医療チームを組んで兵庫県総合防災訓練、加古川市総合防災訓練、院内集団災害訓練に参加しています。イベント医療に関しては、加古川ツーデーマーチ、加古川マラソンの医療班として参加しています。

これからも、当院の救急医療並びに救急科は院内専門科のみならず、地域の救急医療機関や地域医師会の先生方と連携よく救急医療を進めていきます。よろしくお願いします。

救急医療

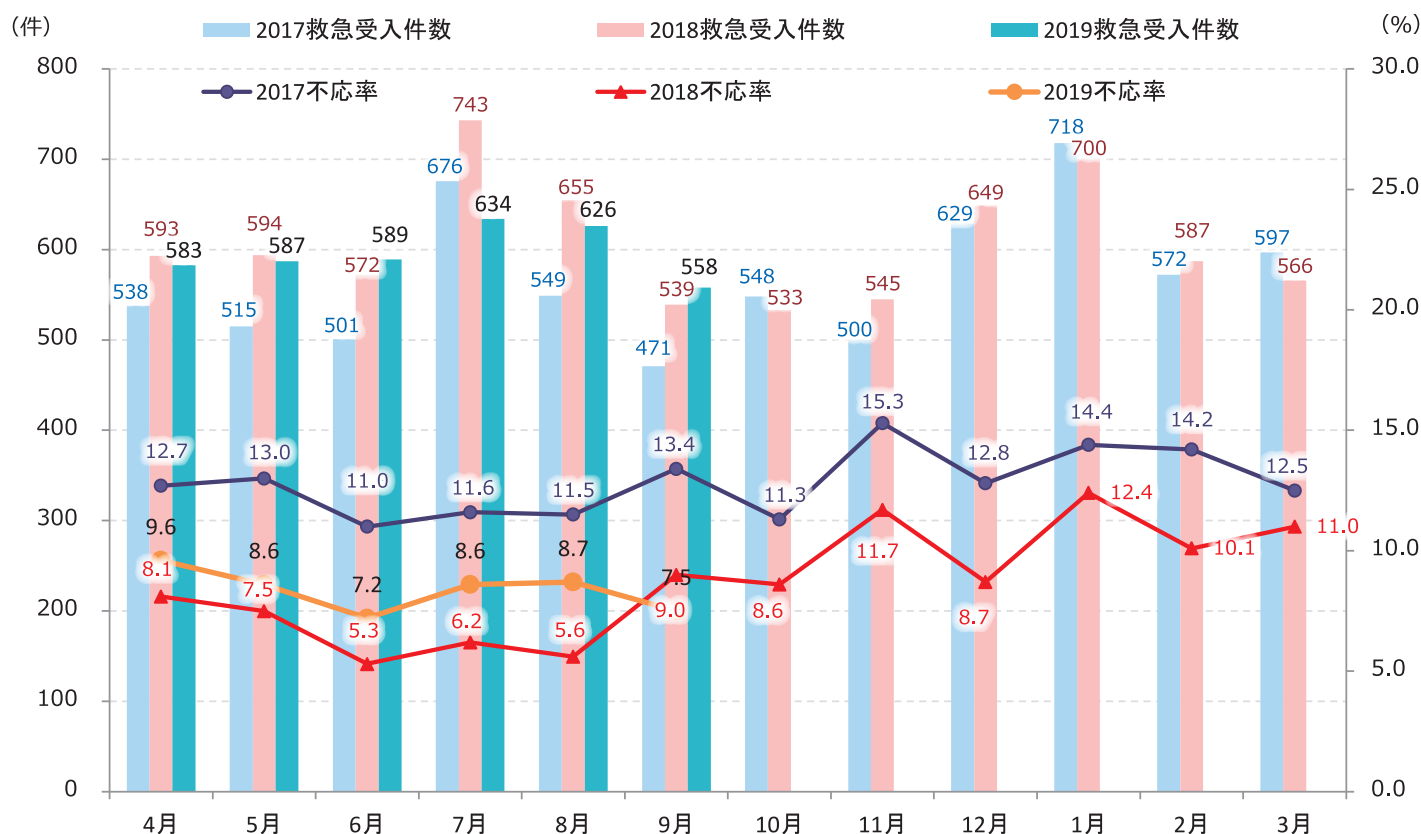


2016年7月の新設統合後からはドクターカー現場出動傷病者とドクターヘリ搬入傷病者の受入れ拡充にも尽力してきました。2018年度（2018年4月～2019年3月）のドクターカー現場出動は75例、ドクターヘリ搬入は13例で、これらを含む2018年度救急車受入れは7,648例、全国22位の多さでした。統合前の2015年度救急車受入れは東西の加古川市民病院合わせて約5,500例でしたから、約2,000例以上も増えました。直接来院された救急傷病者（多くは小児科と歯科口腔外科の患者さん）も合わせると、2018年度は救急外来で約15,500例の救急傷病者を診療しました。



加古川市内の救急車運用状況からみると、2018年度の加古川市消防本部救急車出動は16,272件で、出動件数の35.8%（出動の約3件に1件）にあたる5,831件が当院に搬入されており、当院の救急車受入れ7,648例の約76%が加古川市消防本部救急車からでした。（消防本部は救急車1出動を1件としてカウントします。まれに1件の出動で2～3例が搬送されることもあるので、病院では例数としてカウントします。）

救急の受入件数等のデータ



救急科

～ひとりでも多くの緊急患者を受入できる

スピーディな診療を目指して～



救急科 医長

中田 一弥

私の所属部署は、救急初療室・放射線部カテ室(血管造影室)・光学診療室(内視鏡及び透視室)で構成されています。救急科をはじめ、様々な診療科の医師・医療技術職・事務職など多職種協働しながら看護実践を行なっています。

救急診療の介助・技術教育、救急を担う看護師の資質を維持・向上するため、救急に関するセミナーを開催しています。また、院外の研修受講や学会認定などの資格取得をすすめ、スキルアップできるようサポートしています。特にトリアージナースの育成に努め、若い世代も活躍できるよう力を入れています。

ご紹介いただいた患者さんがウォークインで来院された際、院内トリアージを実施しています。緊急度・重症度を考慮しながら状況に応じて外来エリアから救急初療エリアへ変更し、病状に応じて内視鏡検査や血管造影治療へと繋ぎ、スピーディーな対応をさせていただいています。今後も地域医療機関の皆様とよりスムーズな連携を行い、患者さんが安心して治療が受けられるよう支援したいと考えております。

初めまして、救急科医長の中田と申します。私は加古川市出身であり、卒後5年間は神戸労災病院で主に消化器内科を専攻し、その後東京都立墨東病院の高度救命救急センター、神戸市立医療センター中央市民病院の救命救急センターを経て、昨年度地元である当院に赴任してきました。現在、東京や神戸で培った経験を活かし救急診療にあたっています。

当院救急科では、専攻医、臨床研修医と共に、内科疾患をはじめ、外傷や中毒、熱中症など、幅広い疾患を担当しております。重症患者や対応の難しい疾患の受け入れも積極的に行っており、ドクターカーの出勤も行っております。救急科直通のホットラインもあり、お電話いただけましたら、臨機応変に対応いたしますので、どうぞお気軽にご連絡いただければ幸いです。

また、患者支援センター、地域連携室と密に連絡を取り合い、退院後の生活環境の調整や先生方へのスムーズな逆紹介を心がけていますので、いつでもご紹介ください。これからも安心してご紹介頂けるよう、努力して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



救急看護認定看護師

平石 恵子



社会福祉士

清水 英彦

救急外来に受診された患者さんの社会・心理・経済的相談を行っています。医療費や診察後の生活・療養環境に問題があれば患者さんの希望を確認し、関連する行政機関、医療・福祉機関などと連携し少しでも生活改善できるように努めています。

他院への転院が必要な場合は、救急転送患者情報シートを用いて今後の治療に必要な患者さんのプロフィール等を迅速に情報提供していきます。

その他、当院の基本方針にあります救急・専門医療の充実に向けて、多職種や関係機関との連携を大切にし、社会福祉士としての役割を発揮していきたいと考えております



ダヴィンチを用いたロボット手術の導入を 消化器外科へ拡大しました！

当院では泌尿器科では前立腺癌に対しダヴィンチを用いたロボット手術を導入済みでありました。2019年度は消化器外科においても直腸癌に対しダヴィンチを用いたロボット手術を導入し、8月に第1例目を行いました。

ダヴィンチを用いることで機器の自由度が高くなり、人間には不可能な角度で手ぶれなくアプローチできる、また縫合操作が容易になるなどの利点があり、さらなる治療成績の向上が期待できます。患者さんへのご負担を少しでも減らし、早期回復へつなげていきたいと考えております。

またこれまで13の手術室で様々な診療科の手術を行ってきました。今年度新体制となった脳神経外科の手術が増加していくことを想定し、また手術待機日数の短縮を目的に、手術室の増設を行いました。11月より新たに1室増え、14の手術室で運用開始します。

今まで以上に、地域の先生方からのご要望にお応えできるよう努めます。



次世代型PET-CTで地域医療に貢献します

本年9月より、半導体検出器を備えた次世代型の PET-CT 装置を関西で初めて導入しました。世界最高の時間分解能を誇る Time of Flight 技術を備え、さらにこれまで実用に課題が多かった呼吸同期撮像をルーチンで行うことができるようになりました。自由呼吸下での PET 画像が高感度かつ高分解能となり、病変描出能が飛躍的に向上しました。

また、高感度なため投与する放射性薬剤を半量程度に減らしても十分診断できるデータが得られます。ガントリー内径が広くなり、閉所恐怖症がある患者さんにも対応できます。ご活用される先生方にも患者さんにも、今まで以上にやさしい検査を行う事ができるようになりました。

図1に従来型（光電子増倍管型）装置と次世代型装置を同一患者で比較した画像を提示します。ボケた画像がくっきりとし、動脈まではっきりとわかるようになりました。

図2は 6.1mmの脾癌（赤矢印）および 5.0mmの肺 meta（緑矢印）を描出できた症例です。腫瘍が小さいことに加え、血糖値が 175mg/dl と高く従来型装置では偽陰性となるような症例ですが、新装置では腫瘍が明確に描出されています。

播磨地域において、当院の PET-CT 検査は質・件数ともにトップレベルにあります。10 年以上にわたる豊富な経験に基づいた確かな読影レポートと、最先端の技術が、地域の先生方の診療の一助となりましたら幸いです。

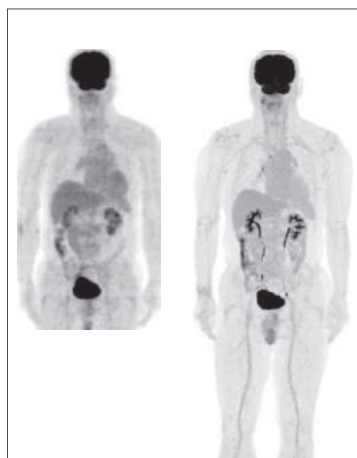


図1. 従来型(左)と次世代型(右)との
同一患者比較



図2. 高血糖値患者さんで小さな病変を
描出できた症例

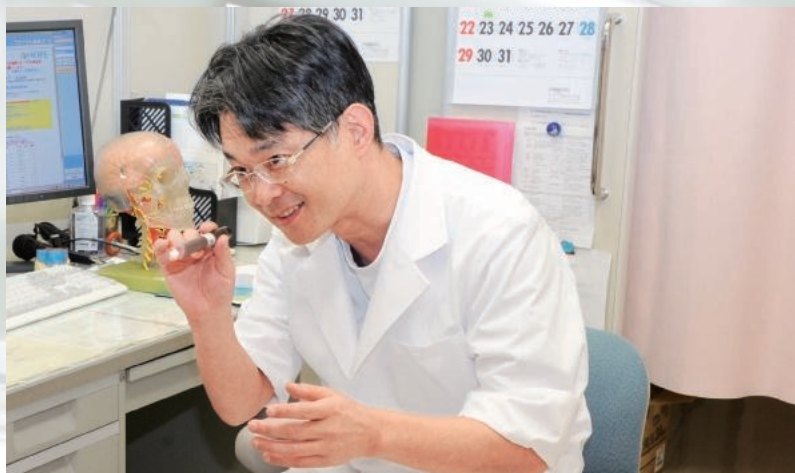
脳神経外科 新体制スタート

詳しくはホームページをご覧ください
加古川中央市民病院 脳神経外科

検索



脳神経外科は2019年8月より新たに潤井誠司郎医師を迎え、3人体制で診療を行っていきます。



脳神経外科 主任科部長

山元 一樹 (やまもと かずき)

専門分野

脳神経外科、小児脳神経外科

資格等

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医
日本小児神経外科学会認定医
日本脳神経外科学会近畿支部学術評議員
厚生労働省認定臨床研修指導医

院長補佐(兼)
脳神経外科 科部長

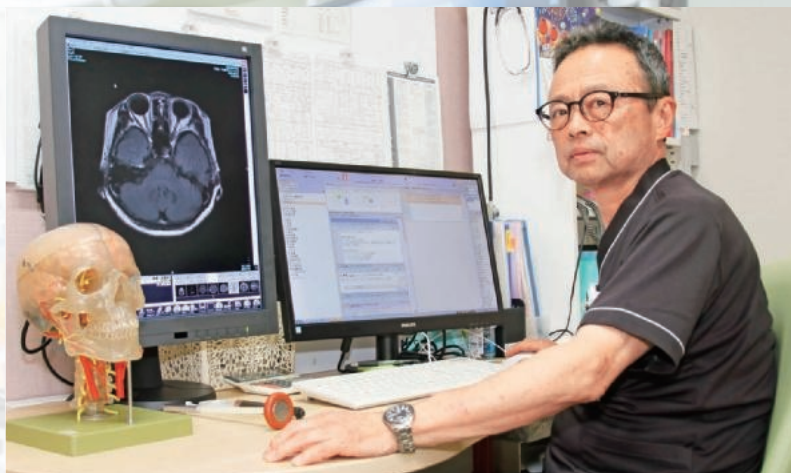
潤井 誠司郎 (うるい せいしろう)

専門分野

脳神経外科疾患全般
脳腫瘍 脳卒中

資格等

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医
厚生労働省認定臨床研修指導医
医学博士



脳神経外科 科部長

木戸口 慶司 (きどぐち けいじ)

専門分野

脳神経外科疾患全般
脳血管内治療

資格等

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医
厚生労働省認定臨床研修指導医
医学博士



今までの対応疾患であった脳血管障害の血管内治療や水頭症・二分脊椎・頭蓋縫合早期癒合症などの先天性疾患を含む新生児・小児脳神経外科疾患からその他脳神経外科全般を対象として地域の脳神経外科疾患に対応していきます。現在手術室のインフラストラクチャーの整備を進め、脳神経外科として全般的な疾患を受け入れる体制を整えております。

また、病気そのものだけでなく、全身状態や職業などの社会的な背景、またご自宅の環境などさまざまな社会的側面からの検討も重要になります。そこで、脳神経外科では、他の診療科やリハビリスタッフやMSWなどと情報共有しながら連携して検査・治療を提供していきます。

どうぞ、対象となる患者さんがおられましたらご紹介よろしくお願いいたします。

連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

かわぐち腎泌尿器科・内科クリニック

[診療科: 泌尿器科 / 腎臓内科 / 内科]

当院は2017年10月に加古郡稲美町では唯一の泌尿器科の外来を行うクリニックとして開院いたしました。尿の分泌や排泄に直接関係している腎臓をはじめ、尿管、尿道、膀胱にいたるすべての疾患を診療対象にしています。また、腹痛、咳、発熱、頭痛、インフルエンザ、高血圧など、一般内科として内科領域のすべての分野をひと通り診療します。糖尿病、脂質異常症、高血圧などの生活習慣病に対する適切な治療と、予防医学の観点からのアドバイスにも力を入れています。今年度より患者様のニーズに合わせ訪問診療、無料送迎サービスや無料ネット相談も行っています。

今後も微力ではありますが加古川中央市民病院の皆様や患者様とのご縁を大切に、地域医療に貢献できるようスタッフ一同、尽力して参りますのでよろしくお願いいたします。



院長 川口 正志 先生



所在地：加古郡稲美町国岡2丁目9-7
コスモビル1階（コスモクリニック横）
駐車場台数：10台

TEL.079-497-5877

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~13:00	○	○	○	●	○	○	—
午後 15:00~19:00	○	—	★	●	○	—	—

★…水曜は15:00~18:00 ●…木曜日は終日オペ日(休診)
※受付時間は診療30分前まで

三郎記念クリニック

[診療科: 内科 / 腎臓内科]

令和1年5月より、当クリニックの院長を拝命いたしました。高齢化が進む中、透析患者さんや新たに透析導入される患者さんの高齢化も進んでいます。高齢の患者さんが通院される際には、様々なサポートが必要となって参ります。通常の送迎はもとより、車椅子利用者さんの送迎対応、透析時間を利用したリハビリ、フットケアや栄養指導などなど患者さんに寄り添い安心していただける医療提供を心掛けております。

また、当クリニックは、JR東加古川駅徒歩1分の立地にありますが、駐車場も完備しており、仕事をされている方が仕事終わりからでも落ち着いて透析治療をお受けいただけます。透析室内では無料Wi-fiも備えていますので、タブレット端末やスマートフォン、ノートPC等をお持ち込みいただきご利用いただけます。

「クリニックでお受けできる患者さんは、原則、お断りいたしません。」という基本姿勢を持って、地域の医療機関や地域住民の皆様には選ばれる組織作りに取り組んでいます。



院長 樋口 彰宏 先生



所在地：加古川市平岡町新在家1350-1
駐車場台数：28台

TEL.079-423-2055

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
内科 腎臓内科	午前 9:30~12:00	○	○	○	—	○	○
	午前 8:30~14:00	○	○	○	○	○	—
透 析	午後 12:00~17:30	○	○	○	○	○	—
	午後 17:00~22:30	○	—	○	—	—	—

在宅医療連携研修会 第4回が開催されました

第4回在宅医療連携研修会を9月17日（火）に開催しました。

今回の研修は、心不全看護について普段から疑問に思っておられること、聞いてみたいことなどを研修前に参加者に質問をいただき、その質問に小林彩香慢性心不全看護認定看護師が答えるというQ&A形式の研修会を行いました。活発なディスカッションもあり、日頃困っていることなども共有でき、生きた研修であったという意見を頂いています。



登録医のご案内

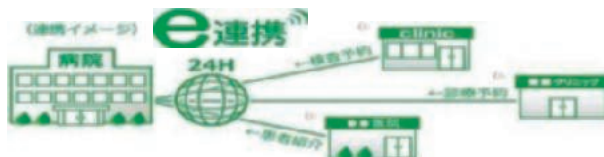
当院では、地域の医療機関の皆様と共同して、より良い医療を提供していくために『登録医制度』を実施しております。現在は350名を超える地域の先生方に登録して頂いております。医療連携をさらに充実させ、地域住民の要望に応えていきたいと考えておりますので、多数の先生方へご登録いただきましたら幸いです。

登録医の先生方には、

- ①開放病床のご利用・開放病床入院患者の手術、検査の立会・当院の診療録等医学資料の閲覧が可能となります。
- ②当院が主催する学術講演会、カンファレンスなどへ自由に参加でき、当院所有の図書の閲覧、複写も可能となります。
- ③インターネット予約をご利用いただけます。

インターネット予約について

IDとパスワードを用いて、当院ホームページ「医療機関向けインターネット予約」から、24時間予約（予約日の1か月前～予約前日の13時まで）をお取りいただくことができます。また、入力・選択していただいた内容を「診療情報提供書」および「予約票」として印刷して、その場で患者さんにお渡ししていただけます。是非ご利用ください。



当院ホームページ「地域の先生方へ大切なお知らせ」のページについて

当院ホームページでは、地域の先生方へ情報提供として、「地域の先生方へ大切なお知らせ」を掲載しております。毎月1回以上更新し、ご紹介・ご予約に関する情報、留意点等を発信しております。是非ご覧ください。

詳しくはホームページをご覧ください

加古川中央市民病院 地域の先生方へ大切なお知らせ

検索

